

公時祭、ハイキングコース

金太郎伝説は、日本の民間伝承の定番の1つです。箱根の山の魔女に育てられた金太郎は、人間離れした強さを持ち、若くして化け物や悪魔と闘った男の子です。暇な時には、小さい家ほどの大きさの岩を動かしたり、素手で木を倒すことができました。このような技能に当然のことながら感銘を受けた源頼光（948-1021）は、この若者を雇い、坂田公時と改名し、金太郎に当時の都があった京都の貴族階級で出世する道を用意しました。

箱根の金時山は、金太郎生誕の地を自称しており、山頂の高さが1,212メートルの山の麓にある公時神社は、子どもと健康の守護神として坂田金時を祀っています。神社で毎年開かれる祭りは、子どもの日（5月5日）に行われ、12歳以下の徒競走や、子どもの無病息災のための獅子舞、小学校に通い、伝統的な腰巻きであるまわしを着てみたい子どもなら誰でも参加できる子ども相撲大会が開かれます。参拝者は年齢を問わず、山頂までのハイキングコースを登ることができ、山頂では箱根で最高の富士山の景色を楽しむことができます。山登

りの途中では、金太郎がここに投げたのかどうかはわかりませんが、いくつか

の巨大な石がある場所を通って行くことになります。